

2011年 (平成23年) **4月9日(土) 予算特別号**

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

安心で快適な活力のあるまちへ

平成23年度当初予算

平成23年3月9日に市議会の議決を得て成立しました。

平成23年度の一般会計当初予算は、生活保護費をはじめとする社会保障関係費の急増などにより、前年度より4.6%増の1,326億円となりました。

新年度では、保育園待機児童の解消や狭あい道路対策などの市民生活に密着した施策、プレミアム商品券の発行などの新規施策を予算化しています。また、昨年の事業仕分けの結果を可能な限り予算に反映させ事業のスリム化を図るとともに、子ども医療費助成の対象年齢の拡大など、本市が先進的に取り組む事業にも重点的に予算を配分しています。

※新年度予算の成立後に東北地方太平洋沖地震が発生しました。この震災に対しましても新年度予算等で適切に対応してまいります。

一般会計 1,326億円
 (対前年度比4.6%増)
 特別会計 …… 737億4,100万円
 (対前年度比6.2%減)
 公営企業会計 …… 30億2,200万円
 (対前年度比3.8%増)
全会計 2,093億6,300万円
 (対前年度比5.1%増)

新年度予算の特徴

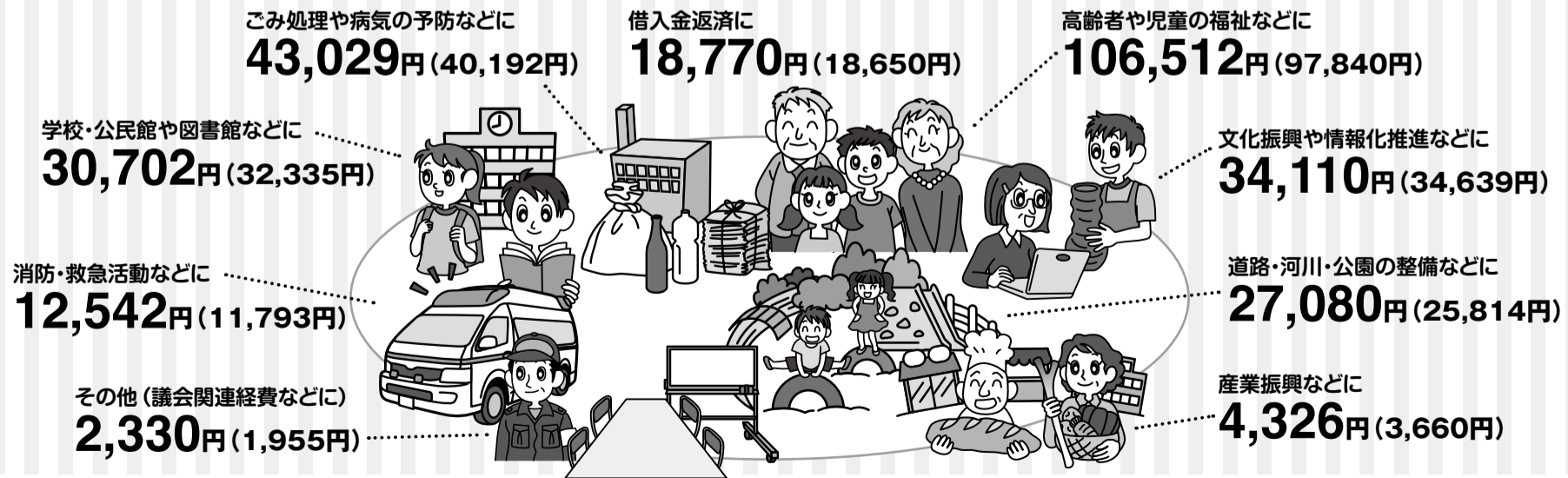
- 前年度より市税収入の増を見込むものの社会保障関係費の増がそれを上回る状況となっています。

前年度比	
市税	29億6,800万円 4.0%増
社会保障関係費	49億7,100万円 15.7%増
- 現下の多くの行政需要に応えつつも次世代の市民負担等を見据え財政の健全化に努めています。
 (23年度当初予算の経常収支比率は前年度比0.6ポイント改善の92.3%、公債費比率は0.3ポイント改善の5.1%)
 ※経常収支比率…財政構造の弾力性を示す指標で市税等の経常的な収入が、扶助費や人件費等の経常的経費にどの程度充てられているかをあらわしています。
 ※公債費比率…市債の元利償還金が市財政の中でどの程度の割合を占めているかを示す指標で10%を超えないことが望ましいとされています。
- 事業仕分け、緊急財政対策などの行財政改革の成果を予算に反映しています。

事業仕分けによる削減効果	△1億5,000万円
緊急財政対策による削減効果	△1億4,300万円
- 臨時財政対策債の発行、財政調整基金の取り崩しなど財源対策として51億2,400万円を講じて収支の均衡を図っています。

臨時財政対策債発行額	28億円
前年度比	△17億円
財政調整基金取り崩し額など	23億2,400万円
前年度比	△4,800万円

一般会計 市民1人当たりの予算 **279,401円** (266,878円) 1世帯当たりの予算 **606,416円** (580,294円)
 平成23年1月1日現在常住人口 ●474,586人
 平成23年1月1日現在世帯数 ●218,662世帯
 ()内は前年度の金額



22年度と比べ増えた主な予算
1位 高齢者や児童の福祉などに8,672円(8.9%)増 **2位** ごみ処理や病気の予防などに2,837円(7.1%)増 **3位** 道路・河川・公園の整備などに1,266円(4.9%)増